

Be Smart KOBE

市営地下鉄駅舎内におけるスマート音声案内システムの実証実験を実施します！
—with コロナ社会を見据えた「Human×Smart」な都市づくり—



神戸市では、「Be Smart KOBE」として、先進的な技術を活用して社会課題を解決する取り組みを推進しています。この取り組みの一環として、下記の通り、AI搭載カメラで混雑状況を検知し、音声案内により混雑状況を緩和させる、with コロナ社会を見据えた「スマート音声案内システム」の実証実験を市営地下鉄三宮駅において実施します。

1. 実証実験について

(1) 目的

ラッシュ時に駅ホーム階と改札口階を繋ぐエスカレーター付近が混雑する市営地下鉄三宮駅では、コロナ禍を通じて、密集解消の必要性がより一層高まっています。

今回の実証実験では、この混雑状況をAI搭載カメラが認識し、混雑時にのみ階段の利用を案内する音声を流すことで、エスカレーター付近の混雑状況の緩和を図ります。

また、エスカレーターに近い車両内の混雑を緩和するため、空いている車両への誘導も音声案内システム上であわせて実施するとともに、AI搭載カメラを通じて各動線の人流データを取得・活用することで、地下鉄利用者の密集を回避する意識の醸成を促します。

(2) 実施期間

①AI搭載カメラの設置・データ計測：令和2年8月7日（金曜）から令和3年3月26日（金曜）まで

②スマート音声案内システムの稼働：令和2年9月1日（火曜）から令和3年3月26日（金曜）まで

※ 進行状況に応じて実施期間は変更する可能性があります。

(3) 実施場所

市営地下鉄三宮駅

